



大切なあなたを守る 特定健診

～知ってほしい津奈木町国保の現状を～

国保医療費の現状

本町は県内でも1人当たりの医療費が高くなっています。
平成24年度1人当たり年間療養費は**46万7747円（県内3位）**です。
その中でも、高血圧性疾患での受診率は平成24年度診療分で県内第9位で、また高血圧性疾患の1人当たりの診療費は左表のように、平成21～25年度まで5年連続で**県内1位**でした。つまり高血圧性疾患が医療費にかかる影響は大きいことがわかります。

【高血圧性疾患 1人当たり診療費】

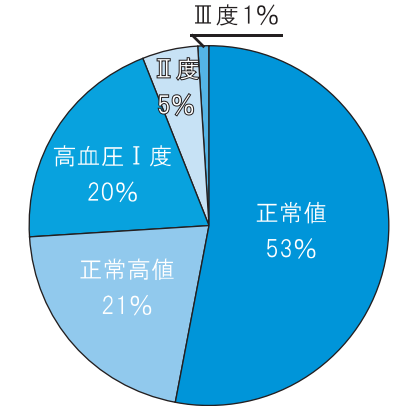
	県平均	津奈木町
H21	1,492円	2,589円
H22	1,494円	2,830円
H23	1,601円	2,669円
H24	1,613円	2,864円
H25	1,542円	2,744円

県内**1位**

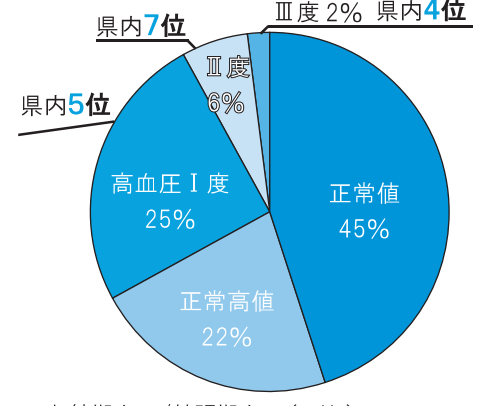
特に多い高血圧患者

平成24年度の町の集団健診の結果から、血圧の値ごとに分類したところ、それぞれに該当する人の割合は県内で上位を占めており、県内でも高血圧の人の割合が多いことがわかります。

【熊本県平均血圧結果状況】



【津奈木町血圧結果状況】



収縮期血圧/拡張期血圧 (mmHg)
正常血圧:120-129/80-84、**正常高値血圧:**130-139/85-89、**Ⅰ度高血圧:**140-159/90-99、**Ⅱ度高血圧:**160-179/100-109、**Ⅲ度高血圧:**180以上/110以上

高血圧がおよぼす影響

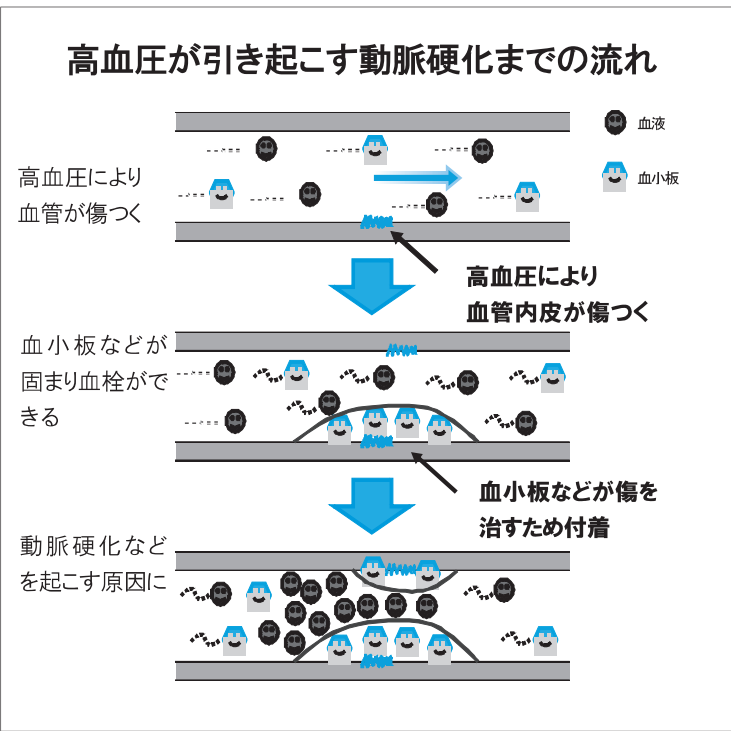
高血圧は、血管の内圧が高い状態のことをいい、動脈の内面に血液の圧力がかかり続けると、血管内皮が傷つきます。本来は、血を固める働きがある血小板などが血管内に付かないように内皮細胞という細胞があります。しかし、高血圧はこの内皮細胞も傷つけます。すると、傷を修復しようと血管内皮の細胞が働きたし、修復した部分には**血漿（けしやう）**などが固まるため血管の壁がだんだん厚く血管内に血栓ができます。血液の流れが悪くなるとさらに血管が詰まり、動脈硬化が起こるのです。血管は痛むまでに約30年かかると言われていますが、硬くなると一層傷つきやすく、もろくなるので動脈硬化がより進んでしまいます。

気づいた時には重症化！

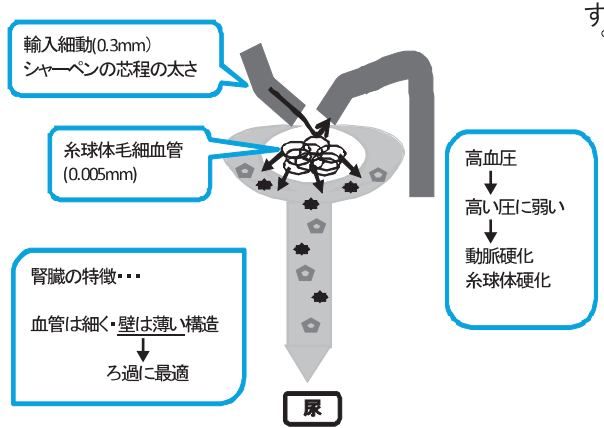
高血圧は、ほとんどの人が自覚症状がなく、気がつくとき重症化しています。重症化すると、虚血性心疾患や脳梗塞などにかかる可能性があり、一回の治療費（虚血性心疾患の場合約400万円）も高くなります。本町は重症化して、高額医療になっている人が多い現状にあり、これらを防ぐためには、日頃の生活習慣の改善や早期発見が大変重要となります。

腎臓にも及ぼす影響

腎臓は、不要なものを尿として体外へ出し、タンパク質など必要なものは再吸収されます。
このように体にいるものといらないものを分けるため、ろ過しやすいように血管の壁は薄く作られています。また腎臓の血管は細いため、強い圧力（高血圧）がかかると腎臓の血管は傷つき、壊れた糸球体の網目から尿の中には本来出ないタンパク質が溢れ出てしまいます。検尿で「蛋白質+」など記載されている状態は、腎機能に何か影響を及ぼしていることとなります。
本町は県内で透析率も高くその背景には高血圧が影響していると考えられます。



【平成24年度】
 虚血性心疾患の受療率25%
 （県平均12・2%）→県内第2位
 脳梗塞の受療率13・8%
 （県平均7%）→県内第1位



「高血圧」
 高血圧は生活習慣病の一つにも挙げられています。生活習慣病とは生活習慣（食習慣、運動習慣、栄養、喫煙、飲酒など）が原因と考えられている疾患の総称で、最近では生活習慣病と「認知症」が関係していることが言われています。
 本町の介護保険利用の原因疾患は1位から3位まで生活習慣病からなる「認知症」「脳血管疾患」「心疾患」で6割以上を占めています。

